

**DB2** Information Management  
Software



## DB2 Alphablox

# オンデマンド世代の BIフロントエンド・ツール

## ハイライト

- **柔軟なアプリケーション構築を実現するカスタマイズBIツール**
- **分析に必要なシートやチャートを作るパーツ (Blox) の集合体、自在にアプリケーションをカスタマイズ可能**
- **Alphabloxの主な特徴**
  - 100% Pure Javaだから、Plug-In/Appletなど一切不必要
  - 既存のWeb環境で分析業務を実現
  - カスタマイズの柔軟の対応
  - さまざまなデータベースに対応

## ビジネス上の効果

重要資産の「情報」をビジネスで有効活用。視認性のよいシートやチャートで、問題点や異常点の判断が容易です。分析結果をクイックにビジネス施策に反映でき、迅速かつ質の高い意思決定を実現します。一方、業務の現場では、分析・判断の結果を踏まえた処理が行えるので、業務が最適化され、ビジネスパフォーマンスを向上させます。また、自在に分析処理を組み込めるので、企業風土や慣習にあったシステム構築が可能。業務の効率化に大きく貢献します。

## 100% Pure Javaだから、Plug-In/Appletなど一切不必要

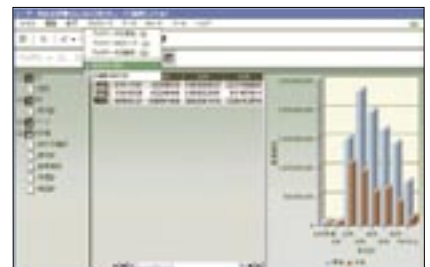
Plug-in/Appletなど一切不要なし: Alphabloxを使用すると、WebアプリケーションからDB2などのデータベースの分析データに簡単にアクセスできるようになります。その際、Plug-inやAppletのダウンロードなどは一切必要ありません。Webブラウザのみの使用で、いつでも、どこからでも最新の業務データや過去履歴データにアクセスすることができます。AlphabloxはダイナミックHTML技術により、Webブラウザ内でのスムーズな操作を実現しています。

オープンスタンダード: Alphabloxは J2EE™ やMDXなどの標準規格を採用しており、エンタープライズ・アーキテクチャーに対応しています。「Blox」はWebアプリケーションを構成するJSPのカスタムタグとして使用できるようになっており、BloxによるサーバーサイドのJavaコンポーネントとクライアントサイドで実行されるスクリプトの連携は、操作性の優れた分析データへのアクセスをユーザーへ提供します。

また、サーブレットやJava Beanなどを利用するWebアプリケーション開発においても、Rational® Application Developerなどのツールを利用しAlphabloxをJSPへ組み込むことも可能です。

ポートレット対応: Alphabloxは、ポータル環境にも対応します。WebSphere® Portal Serverに組み込むことができます。

ブックマーク機能でより使いやすく: Alphabloxでは、「ブックマーク機能」により、個人もしくはグループで共有できるブックマークを設定することができます。これにより、ユーザーが設定したOLAPの切り口やグラフの設定などが保存でき、次回からはブックマークをロードするだけで、ユーザーのカスタム画面を呼び出すことができます。



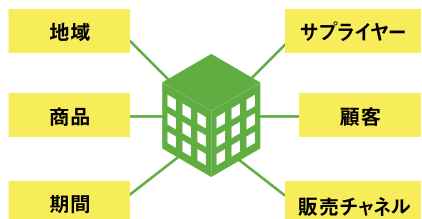
## ビジネスデータを多方面から分析・検討

Alphabloxは、キューブを上手に使うことで分析する機能を持ち合わせています。例えば、製品軸や組織軸、地域軸などによりデータを多面的に比較・検討することができます。それにより、Webページ上で分析軸を自由に組み合わせ、インタラクティブにデータ分析や検討を行うことができます。

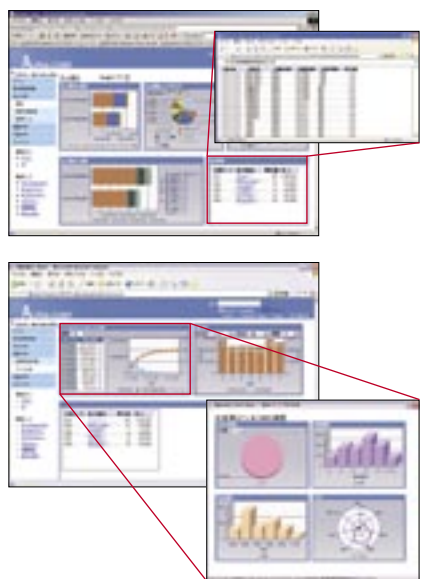
また、OLAP機能では、通常のSQLベースでのデータ検索のように複雑なクエリーを意識



する必要なく、軽快に操作することが可能です。OLAPのためのデータベースとしてDB2 Cube Viewsをはじめとして、より高度な機能を提供する多次元データベースをサポートしています。



さらに詳細へ: Alphabloxは、データからインサイト(洞察)へ、サマリーデータからより詳細データへと、データの掘り下げ(ドリルダウン)をサポートしています。アイコンなどを使用することで、別の分析画面にリンクを設定し、よりわかりやすく詳細を分析することもできます。



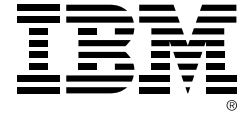
### 既存のweb環境で分析業務を実現

Alphabloxは、インタラクティブなトラフィックライト設定やグラフ表現が可能です。Webページ上でグラフの種類を変更しながら、データを分析することもできます。傾向線機能などの豊富な視覚化機能により、販売や在庫などの状況を容易に把握することができます。多彩な表示機能: Alphabloxでは、複数グラフや表コンポーネントを連動できます。また、ユーザーの手で閾値を設定し表示形式を変えることにより、注目すべきデータを容易に探し出すことができます。このトラフィックライト機能により、警告や異常の検知データを瞬時に判断することができます。

データを的確に視覚化するグラフコンポーネント群も豊富で、バブルチャート、レーダーチャート、パレート図などさまざまなデータ表現が可能です。

データ活用もスムーズにいくらWeb化が進んでいるとはいえ、ユーザー個人による保管や二次加工は必須の機能です。Alphabloxでは、Excel化やPDF化をサポートしています。また、画面上のデータにコメントをつけてチームのコラボレーション作業に役立てるなど、充実した分析サポート機能を提供します。分析からマイニングへ: Alphabloxは、マイニング環境もシームレスに取り込むことができます。たとえば、DB2 Intelligent Miner製品群でマイニングした結果を、AlphabloxのWeb画面で活用することができます。





### カスタマイズに柔軟に対応

Alphabloxは、カスタマイズ能力が非常に高い製品です。このカスタマイズ能力の高さにより、「ツールの使い方が難しい」といったユーザーのリクエストに柔軟に対応することができます。Alphabloxアプリケーションは、オープンスタンダードベースのテクノロジー（すなわちJava™ Server Pages）を使用して作成されているため、お客様は、市場で入手可能なWeb設計ツールおよびソース・コード・コントロール・システムを幅広く選択して使用し、Alphabloxアプリケーション・コードを開発、管理することができます。

例えば、Rational® Application Developer、MacromediaのDreamweaver MX、AdobeのGoLive、BorlandのJBuilder、IntelliJ IDEA、BEA WebLogic Workshop、およびEclipseなどの広範な種類の開発担当者用ツールを、Alphablox開発プロセスで使用することができます。

### さまざまなデータベースに対応

Alphabloxは、DB2 Universal Database™に限らず、さまざまなデータベースに対応しています。また、RDBMS(Oracle、Microsoft® SQL Server、Sybase Adaptive Serverなど)だけではなく、多次元データベース(Hyperion Essbase、Microsoft SQL Server Analysis Services、SAP-BWなど)への接続も可能です。このように、さまざまなデータソースに柔軟に対応することで企業のデータを有効活用していくことができます。

### 詳細情報

お問い合わせは、IBMビジネスパートナー、製品販売店、弊社営業担当員または、ダイヤルIBM(☎0120-04-1992)へ。受付時間: 月～金 9:00～18:00(祝日、12/30～1/3を除く)携帯電話でおかけのお客様は下記の電話番号でご利用ください。ダイヤルIBM 03-6220-8002(この場合通話料はお客様のご負担となります。)

IBM DB2 Alphabloxの詳細については、下記のWebサイトをご覧ください。

[ibm.com/jp/software/data/bi/alphablox/](http://ibm.com/jp/software/data/bi/alphablox/)

© Copyright IBM Japan, Ltd. 2006

日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

Produced in Japan  
March 2006  
All Rights Reserved

このカタログの情報は2006年3月現在のものです。内容は事前の予告なしに変更する場合があります。表示画面及び印刷帳票の出力例のうち、特に断わり書きのない出力例のデータ部分は全て架空のものです。画面ははめ込み合成で実際の表示とは異なります。製品、サービス等詳細については、弊社もしくはIBMビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。

IBM、IBMロゴ、ON(ロゴ) Demand Business、DB2、DB2 Universal Database、Rational、Rational RoseおよびWebSphereはIBM Corporationの商標。

MicrosoftはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における商標。

Java、すべてのJava関連の商標はSun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標。

♻️ 古紙配合率100%の再生紙に、大豆油(SOY)インクで印刷しています。

